

# 物流ニッポン紙

2019/7/2号

## SUJ ■ 宅配品質競技会

### 冷蔵庫搬出入の腕披露

#### 接客マナーも審査

家具・家電の配送や住宅設備工事を手掛ける運送事業者などで組織する技術物流連合会（SUJ、下原啓明会長）は6月13日、東京都内で宅配品質競技会の全国決勝を行った。競技は各地の予選を勝ち抜いた3チームが出場。2人1組で住宅内で冷蔵庫の搬出入を行う想定でサービスの品質を競い、エースカーゴ（中島辰也社長、滋賀県野洲市）から出場した伊藤徹、中野浩一の両選手が優勝に輝いた。

競技会は消費者家庭への家電製品などの配送を想定



して実施している。予選は6日に全国3ブロックで開

き、8チームが出場した。住宅の壁面や製品の養生、搬出入での連携などの作業面だけでなく、接客マナーなども審査しており、配送の事前連絡から作業者の身だしなみや準備、消費者への確認手続きなど、独自に定めた27項目のチェックポイントで判定した。

優勝したエースカーゴの伊藤・中野の両選手には、下原会

優勝したエースカーゴ・チームらと記念写真に納まる下原会長（前列中央）ら

長からトロフィーなどが贈られた。2位にはエースサービス（下原社長、兵庫県宝塚市）の馬場竜樹、広吉拓也の両選手が、3位はLJP（細川秀元社長、仙台市宮城野区）の及川健太郎、庄司将士の両選手が、それぞれ選ばれた。

講評では、優勝した伊藤中野の両選手の作業について、「1・1日の通路幅しかないコースで冷蔵庫の搬出入を行っていたが、ほぼ接触が無かった。2人の息が合っており、普段の作業でもクレームゼロではないか」と絶賛。下原会長も、皆が各社に持ち帰り、お客さまに示して欲しい」とたたえた。（佐々木健）